




765LT

スクロールして詳細を見る 

■ ディーラー



ピュアに攻める。極限まで無駄をそぎ落としたボディ。ドライビングの喜びを実現させる新しい定義。圧倒的なパワー、脅威のパフォーマンス、そして崇高なダイナミクス。マクラーレン765LTは、徹底した最強のロングテール。

スリリングなストーリーの、新しい章を刻むモデルです。

LT、それは極限に達したもののみに与えられる称号

準備は万端

ロングテールだけが、限界を超えられる。これほどまでにあなたを強く魅了するドライビングを実現する車はありません。765LTは、このフィールを高めるために息を吹き込まれました。かつてないほどの一体感を感じるために。

恐れを知らないスピリットと妥協を許さないパフォーマンスを生み出すために、すべてを綿密に調べ上げ、開発し磨きをかけ、それらすべてがマシンに注ぎ込まれました。

その結果誕生したのが、カーボンファイバーの先鋭的な彫刻。エアロダイナミクスの要求に応えたシェイプです。サーキット走行も念頭に置いたこのマシンの重量は、わずか1,339kg。すべての感動的な瞬間の真ただ中にあなたを導きます。最強のLTエンジンを搭載。

目的の明快さがこれほどまでにスリリングなことは滅多にありません。

それは唯一、765クーペのみです。



伝説はさらに大きく

それはレースの興奮のために作られました。最も過酷なレースを支配するために、設計および立案された最初のロングテール。ルーツは脅威のマクラーレンF1です。

1997 McLaren F1 GTR ロングテールが道を切り開きました。GT選手権の11戦中、5戦レースで勝利。さらにルマンのGT1クラスでも、ライバルに30周の差をつけ、フィニッシュを達成。

ポイントが証明しています。象徴的なプロフィールが歴史の中でその地位を獲得します。そのプロフィールを特徴づけるのは、独特な延長されたリア。これにより、抵抗が大幅に減少し、ダウンフォースが増加しました。それは、ロングテール。設計とエンジニアリングの精神の核心であり、はるかに多くを与えることができました...

伝説は18年後に再び激動します。675LTは、ダイナミクスとドライビングの喜びを融合させて路上にもたらしめました。特徴は堂々と長く伸びたリア。さらに軽さ、直感的なパフォーマンス、卓越したハンドリングにより特徴づけられます。それは直接的な取り組み。

2018年に発売された絶賛の600LTは、限界をさらに押し広げました。驚異的なパフォーマンス係数、容赦なく効率的な超軽量構造、そして全体的なドライバーフォーカスにより、ロングテールの価値を維持します。

今、ロングテールの本質はこれまで以上に強力です。それは、765LT。765ps軽量の自然の力。ビスポークのカーボンファイバーデザイン。大胆不敵なエンジニアリング。もっと速く。さらに焦点を絞って。

1997

McLaren F1 GTRロングテールとその驚異的なトラックパフォーマンスでLT伝説が誕生。

2015

ロングテールシリーズが公道走行用として復活し、2つの猛烈な675LTモデルが自動車の世界全体を活気付けます。

2018

興奮させる600LTは、クーペとスパイダーの形式で再度ロングテールの精神を解き放ちます。

そして、今

新しい章が始まる。すべてに対する新ベンチマーク。最速、最もパワフル、そして最もサーキット重視のLTが登場... センセーショナルな765LT。





本質の力

765LTは極限の要素である必要最小限のもののみで構成されています。始まりは世界で最もドラマチックで魅力的、そして最高速のスーパーカー、720Sクーペがベースです。

説得力のあるデザインランゲージを明確に表現するのは、新しいビスポークカーボンファイバーボディパネルに、より低いスタンス、そしてより広いトラックです。これらユニークなボディパネルにも驚異的な軽量化が実現されています。デザインの各部分に、軽さが容赦なく追求されました。それは、モータースポーツ仕様のポリカーボネートガラスからチタン製フルエキゾーストシステムに至るまで適用されています。さらにインテリアのミニマルで機能的な美しさにも注目です。

765LTのメッセージは実に明快。それはあらゆる意味で、より低く、より軽く。完璧なミッドエンジン、リアホイールドライブアーキテクチャ、極めて高強度なセンターモノコック「モノケージII」シャーシ、切れが良く手に馴染む電動油圧式ステアリング。これらすべては、ドライバーを重視したもの。LTに搭載された最強のエンジンを味わう準備はできました。改良型の765ps 4.0リッターV型8気筒ツインターボエンジン。そのパフォーマンスは、まさに限界を超えたと言っても過言ではないでしょう。0~100 km/h (62mph) の加速は 2.8秒。

0~200km/h (124mph) の加速は 7.0秒。最高速度330km/h (205mph) に達するまで、そのパワーは続きます。

威嚇するような存在感

765LTはロングテールの設計哲学を、公道走行が可能なあらゆるLTを超えて進めます。720Sの張り切ったシュリンクラップボディをベースに、一切の無駄を省き、研ぎ澄まされ、さらに強固になりました。それは、重量を削減し、エアフローを制御するために。

さらに低く、さらに広く。765LTは脅威を感じさせます。フロントスプリッターはさらに前方に押し出され、空気の流れの中に突き進みます。刺激的なロングテールプロファイルを形成するアクティブリアウイング。サーキットを重視したボディのディテールは、主要なエアロダイナミクスの要素を際立たせています。エア冷却のより高い必要性からインテークはより広くなり、それが無駄をすべて省いた隆々としたフォルムを作り出しました。

さらに露出度を高めた驚異のエンジンベイ。フェンダーはよりしっかりと包み込まれています。美しい新しいフルチタニウム製クワッドエグジットエキゾーストシステムは、疑う余地のない完成度を示し、ぞくぞくするほどセンセーショナルなサウンドを最大に感じられるよう配置されています。細かいディテールが目的をもって、至る所に配されています。ディフューザーのトレーリングエッジや、フロントスプリッターに隠されたダイビングプレーンは、そのほんの一例にすぎません。





目的はただひとつ

すべてのディテールは所定の位置に。各デザインの特徴は、その機能を正確に反映しています。さらなる軽量化、エアロダイナミクスの強化のため、そして最大の悦びのために。フロントスプリッターはアグレッシブなスタンスを生み出す効果はあるが、そのためには複雑な作業があります。765LT周囲、上方、下方のエアを分離して、低温ラジエーター内に向け、マシンの側面から離れて流すことです。

すべて新しくなったカーボンファイバーのフロントフロアは、激しいブレーキング時のピッチセンシビリティを軽減させるために正確に成形されており、これはさらに中高速コーナーでのダウンフォースの維持にも役立ちます。

決定的にLTのデザインエレメントを特徴付けているのは、新しいロングテールアクティブリアウイング。720Sよりも20%大きく、ダウンフォースを高め、揺れのないバランスを維持するのに役立ちます。キャビンからエアロモードを使用して、高速コーナリングを強化可能。DRS(ドラッグリダクションシステム)が自動的に展開し、高速ストレートでの抵抗を最小限に抑えます。高速ブレーキは、0.5秒で完全なエアブレーキ機能をもたらします。エアロダイナミクスバランスを後方にシフトさせ、驚異的な安定性と短い停止距離を可能にします。

軽さに始まり、 さらに軽量化を目指す。

すべてのマクラーレンのDNAには、軽さが刷り込まれています。これはまさに畏敬の念を起こさせる720Sを定義するものであり、765LTはそれをベースとして生まれました。最速かつ究極のプロダクションロングテールを作成するために、軽さへのこのこだわりの追求は今までにないレベルに達しました。

「モノケージII」は、すべてのマクラーレンスーパーカーに搭載されている、極めた強力で剛性のあるカーボンファイバーシャーシです。765LTには、大幅に重量を削減する目的で、革新的なマクラーレンコンポジットテクノロジーセンター (MCTC) で設計および生産された、まさに究極の新カーボンファイバーボディパネルが追加されています。精巧な新ロングテールアクティブリアウイングは、720Sデザインに比較して35%以上の軽量化を実現しています。

独特のフルチタニウム製クワッドエグジジットエキゾーストなどの妥協を許さないエンジニアリングも、劇的な軽量化に大きく貢献しています。わくわくするセンセーショナルな唸りを発するだけでなく、標準的なシステムよりもさらに40%の軽量化を実現。確固たる軽量化プログラムは、足元から始まります。チタンボルトと専用開発されたPirelli P Zero™ Trofeo Rタイヤを装備した美しい超軽量10スポーク鍛造アロイホイールは、720Sのホイールとタイヤのコンビネーションに比べて22kg軽量です。



飽くことを知らない

軽さの追求は、ドライバー重視の急進的でミニマルなキャビンを形作ります。触覚的、機能的、そして完璧に仕上げられています。カーボンファイバーレーシングシート、ステアリングホイール、ダッシュボード、ドア、ルーフライニング、リアパーセルシェルフには、軽量のAlcantara®が使用されています。フロアカーペットはなく、リアバルクヘッド周辺の消音材が取り除かれています。これらの目的は軽量化とパワートレインの音の増幅です。

キャビンの中央には、ビスポークのカーボンファイバー製センタートンネルが配されています。ロック可能な収納ストレージは不要です。従来のドアポケットの代わりに収納ネットを装備。エアコンとオーディオシステムも非搭載にし、さらなる軽量化を図っています。コントロールパネルやスイッチサ라운드にも注意が払われており、これらにもカーボンファイバーが使用されています。

これがロングテールの精神を実現させたものです。そして、それは目覚ましい成果をもたらしました。765LTは、すでに軽量である720Sに対し、さらに80kg軽量化が実現されています。765psを備えたサーキット走行も念頭に置いた、完璧にバランスの取れた車では、激しい加速、素早いレスポンス、息を呑むようなダイナミックな落ち着きを体験できます。これらすべてが一体になると、病みつきになります。

かつてないほどの 一体感

激しい熱情。感覚はより現実的に。すべてを超越する。エンジンを始動した瞬間から、765ps 4.0リッターV型8気筒ツインターボエンジンの音が、キャビンに溢れ出し、さらに、シートとステアリングホイールを通して響き渡ります。剛性の高いエンジンマウントとポリカーボネートのリアガラスが、その効果を極限まで高めます。

全体の構造は、車とドライバーの一体感を最高に高めることに目的が絞られています。超軽量の「モノケージII」カーボンファイバーシャーシ。リアホイールドライブミッドエンジンアーキテクチャ。全く新しいカーボンファイバーボディワーク。実に美しいビスポークのフルチタニウム製クワッドエグジジットエキゾーストシステム。すべての部分が呼応し、一体となります。

自ずと、さらにピュアな悦びが訪れます。765LTは極めて軽量であるため、シフトする質量と慣性の影響を最小限に抑えます。理想的にバランスが取れているので、すべてのインプットに反応。あなたの思うままです。エンジンは、ダイナミクスを最適化するためのパーフェクトな位置に置かれています。それは675LTよりも100mm低い位置です。それにより、すべての重要な重心が低くなり、操作性が向上します。



完全に没入型

すべてのマクラーレン車同様、765LTは電動油圧式ステアリングを装備しています。無機質でなく、馴染みやすいフィードバックを与えてくれます。さらにクリアなフィードバック。システムがより速くなり、より硬いステアリングトーションバーが追加されました。レスポンスは電光石火、しかもあらゆる条件下でも一貫しています。究極の喜びもあなたの思いのままです。

7速のシームレスシフトギアボックスにより、没入型のドライブがさらに高められます。この高性能トランスミッションは、アクティブダイナミクスパネルを使用して調整および制御が可能で、コンフォート、スポーツ、トラックモードを選択することができます。スポーツモードには、Formula 1™ 由来のイグニッションカットが装備。これによりシフト中の点火が一瞬短縮され、超高速シフトチェンジとエキゾーストからのドラマチックな「クラッキング」を生み出します。セレクトトラックモードとイナーシャプッシュテクノロジーは、フライホイールからの運動エネルギーを使用して、ギアの噛み合わせ時にトルクのパルスを提供します。これにより、強烈な加速を継続して確実に生み出すことができます。最適化されたギアレシオはアグレッシブなフィジカルギアシフトを実現し、これはすでにかなりの高速を誇っていた720Sと比較した場合、同じレシオから生み出される速度の15%以上を上待っています。

究極のドライビングの喜びのためには、究極のシャシーが必要です。765LTの特徴は、最新のリンク式油圧アクティブサスペンションシステム（プロアクティブシャシーコントロール II）を装着していること。これは720Sでは先駆けとなったが、ここではそれがさらに推進されています。アウターエッジ用に調整。ロール剛性が大きくなり、ソフトウェアが強化されました。究極への準備ができました。それはまさにLTとしてのドライビングのために。



解き放たれた伝説

すべての新しいLTはパフォーマンスの境界を押し広げなければなりません。限界を超える。765LTには、これを実行するためのパワーと究極のダイナミックな能力があります。そのパフォーマンスは衝撃的。新しいレベルで、新しい章の始まりです。

これまでで最もパワフルなプロダクションロングテールは、マクラーレンが設計した4.0リッターV型8気筒ツインターボエンジンを使用しており、765psのワイルドなフリーレベリングと、800Nmの莫大なトルクを発揮。これは、今までの流れを変える720Sで40psの増加です。このエンジンの能力は、765LTの革新的な超軽量構造により、最大限に活用することができます。最軽量の乾燥重量で1トンあたり622psのパワーウェイトレシオは、期待されるパルスを発生させます。

レスポンスは、ほぼ瞬時。加速は細かい点まで研ぎ澄まされました。なぜならそれは、超低慣性ツインスクロールターボチャージャーと電子制御ウエストゲートは、ほとんど「時間差」がないためです。ドライバーとLTパフォーマンスのフィールとの間を隔てるものは、何もありません。エンジンの中心部にある、レースで鍛えられた妥協を許さないエレメントが、ピュアな興奮の猛攻撃を仕掛けます。ビスポークの軽量鍛造ピストンは、その一例です。燃料システムもまた、マクラーレンセナのツイン高流量燃料ポンプを用いて改良されています。



究極を実現可能に

パフォーマンスのクオリティが765LTを際立たせます。それは、純粋なパワーや直線的なパンチだけではありません。LTのワイルドな加速の中にも、性能の深みがあります。フレキシブルなパワーは、常に手元に。究極の要求にも応じます。サーキットでは、負荷と回転数が非常に高くなることがあります。しかし765LTは、どの道路でも毎日楽しむことができる車でもあります。

驚異的なピークパワーとトルクが、あなたの注意を引き付けて放しません。しかし、パワーがもたらすこのフィールが重要なのです。これらは、LTモデルで見られる最大に向上された点です。活用できるパワーは津波の様に襲ってきます。7,500rpmで765ps、5,500rpmで800Nm。

この驚異的なパワーをサーキットでも一般道路でも継続して提供するために、765LTエンジンには高い耐久性があります。McLaren P1™ 用に開発されたカムフォロアなどの主要コンポーネントには、ダイヤモンドライクコーティングが施されており、摩擦と摩耗を減らします。マクラーレンセナからの3層ヘッドガスケットと強化オイルポンプも引き継いでいます。ロングテールの伝説は、世界で最も厳しい耐久レースで納めた勝利に基づいて構築されました。究極の耐久性は当然のことなのです。

細部に至るまでのこだわり

精密であること。それはマクラーレン車のあらゆる面によどみなく流れています。そして、イギリスのウォーキングにあるマクラーレンテクノロジーセンター（MTC）のすべての部分でも。そこは、伝説のFormula 1™レーシングチームの本拠地。765LTが生まれた場所です。

すぐ隣のマクラーレンプロダクションセンター（MPC）では、各765LTが手作業で組み立てられます。落ち着いた静かな環境で。創造性と卓越性に富む場所。この2つは、すべてのエンジニア、デザイナー、制作チームが共有するクオリティです。そしてそれらはまた、マクラーレンが製作する各マシンの細部にも息づいています。

MSO

可能なことを実行する技術

あなたはマクラーレンを所有しているだけではありません。あなたはマクラーレンをあなた自身のものにするのです。マクラーレンスペシャルオペレーションズ (MSO) は、これまでにないレベルの選択肢を提供し、車をカスタマイズします。インテリアも、エクステリアも。

これは完璧さを向上させることではありません。または、単にそのために何かを追加することでもありません。MSOは独自のマシンの作成に重点を置いています。それはお客様のニーズ、テイスト、ビジョンに合わせて特別に作成されたマシンです。

これは見た目にはわずかに目立つだけかもしれませんが、しかし、それは桁外れなものをさらに超えることを意味することもあります。特定の夢を実現するためにあなたの車を変える。公道仕様であるならば、それは可能です。

チームに相談してください。そして、あなただけの765LTを作りましょう。真に、あなただけのマシンです。



■ ディーラー

究極を維持する

マクラーレンは普通の車ではありません。それは通常を超えたレベルのケアに値します。そして、それこそがまさにMcLaren 正規ディーラーが提供するものです。ディーラーでは、マクラーレン車を維持するために、ここMPCでマシンの製造に適用しているものと全く同じ細かい基準を適用しています。

彼らはあなたが765LTを運転するために購入されたことを承知しています。そのため、あなたができるだけ早く再びマシンを運転できるよう、常に彼らは努めます。それが、ディーラーで柔軟なサービスとマクラーレン純正部品を提供する理由です。

765LTは、15,000km (9,300マイル) ごと、または12か月後の、どちらか早くに到達した時点でサービスを受ける必要があります。ただし、765LTをサーキットで使用する場合は、完全な訓練を受けたマクラーレンの技術者が実施するサーキットチェックを、サーキット走行の前後に行うことをお勧めします。

すべてのマクラーレンの新車は36か月の保証、およびほとんどの地域でマクラーレンロードサイドアシスタンスにより、カバーされます。一部の市場では、標準の保証期間を延長して、さらにご安心頂くこともできます。あなたとあなたの765LTが、長く幸せな日々をお過ごしできるようお手伝いいたします。

それはあなたの車から 始まります...

マクラーレンを所有するというは、多くの点で異なります。それは病みつきになる魅力的な車を所有する以上のものです。

私たちのチームや他のマクラーレンオーナーと交流する機会を得ることや、共通のものに情熱を傾ける愛好家ファミリーの一員になること、そして、あなたのマクラーレンから絶対最大値を引き出すこともできる機会が得られるでしょう。

それは、チャレンジングなものからリラックスできるものまで、世界中でドライビングとライフスタイルイベントを提供しているからです。ともかく、あなたの765LTは最高の道路と最もタフなサーキットを走りつくすために生まれたのです。

ですから、世界で最もアイコン的なレーシングサーキットで、プロのコーチングによりスキルを磨いてみませんか。氷上ドライビングでドリフトしたり、または、のんびりとくつろいだ、風光明媚なドライブツアーに参加したり、そしてもちろん、厳選された世界クラスのモータースポーツイベントへのVIPアクセスを購入する特別なチャンスもあります。

興味をそそられましたか? 詳細は、cars.mclaren.com/experiences をご覧ください。



- ディーラー

765LT 主要諸元

エンジン構成
M840T 4.0リッターV型8気筒ツインターボエンジン
ドライブトレインのレイアウト
ツイン電動アクチュエーション ツイン スクロール ターボチャージャー、ドライサンプ潤滑
トランスミッション
7速+リバースのシームレス・シフト・ギアボックス (SSG)
サスペンション
ダブルウィッシュボーン、アダプティブダンパー、プロアクティブ・シャシー・コントロール II
無効、コンフォート、スポーツ、トラックモード
ステアリング
電動油圧式パワーステアリング
ブレーキ
フロント: 390mm カーボンセラミックディスク、6ピストン、モノブロックアルミニウム製キャリパー
リア: 380mm カーボンセラミックディスク、4ピストン アルミニウム製キャリパー
出力と性能
最大出力 ps (BHP) (kW)765 (755) (563) / 7,500rpm
最大トルク Nm (lb-ft)800 (590) / 5,500rpm
0-100 km/h (0-62 mph)2.8 秒
0-200 km/h (0-124 mph)7.0 秒
0-60 mph2.7 秒
0-400 m (1/4 マイル)9.9 秒
停止距離:100-0 km/h (62-0 mph)29.5 m
停止距離:200-0 km/h (124-0 mph)108 m
重量
最高速度 km/h (mph)330 (205)
DIN規格空車重量 [フルード+ 90% 燃料]1,339 kg (2,952 lb)
乾燥重量最小:1,229 kg (2,709 lb)
重量配分 フロント:42%
重量配分 リア:58%

寸法
全長 4,600 mm
全幅、ミラーを含む 2,161 mm
全幅、ミラー折畳み時2,045 mm
全幅、ドア開放時: 単体 (両方)2,464 mm (2,767 mm)
全高 1,159 mm
全高、ドア開放時1,947 mm
オーバーハング、フロント:リア 1,105 mm:824 mm
ホイールベース2,670 mm
トレッド フロント (接地面の中心間の距離) 1,656 mm
トレッド リア (接地面の中心間の距離) 1,612 mm
ランプアングル (車体リフトアップ機能使用時) .6.93 (8.88) 度
ブレークオーバーアングル 11.25 度
デパーチャーアングル 12.3 度
ホイールサイズ - フロント: 19 x 8.0J インチ
ホイールサイズ - リア: 20 x 11.0J インチ
タイヤサイズ - フロント: 245/35/R19 インチ
タイヤサイズ - リア: 305/30/R20 インチ

効率
EU WLTP
CO2 排出量: 低速503 g/km
CO2 排出量: 中速262 g/km
CO2 排出量: 高速233 g/km
CO2 排出量: 超高速248 g/km
CO2 排出量: コンバインド280 g/km
燃費: 低速.....22.1 L/100km (12.8 mpg)
燃費: 中速.....11.5 L/100km (24.6 mpg)
燃費: 高速.....10.2 L/100km (27.7 mpg)
燃費: 超高速.....10.9 L/100km (25.9 mpg)
燃費: コンバインド12.3 L/100km (23 mpg)
USA EPA
燃費 市内14 mpg
燃費 高速道路.....18 mpg
燃費 コンバインド16 mpg
燃料タンク容量 72 L (15.8 英ガロン / TBC 19 米ガロン)

次のステップ

最新のマクラーレンLTの詳細については、マクラーレン正規ディーラーにお問い合わせください。最寄りの正規ディーラーは、retailers.mclaren.com をご覧ください。

あなたの765LTを創る

弊社のオンラインコンフィギュレーターで、エクステリアの色からインテリアのトリムまで、すべてを選択することができます。

configurator.mclaren.com/model/coupe/765LT から始めましょう。

マクラーレンファイナンス

最後になりましたが、マクラーレンでは765LTを購入されるお手伝いとして、さまざまなファイナンスオプションをご用意しています。詳細につきましては、最寄りのマクラーレン正規ディーラーにお問い合わせください。

マクラーレンのすべてが、あなたの思いのまま。

最新車の発表に関する情報です。ピュア マクラーレンサーキットイベントなど、華麗なマクラーレンエクスペリエンスを予約しましょう。オーナーズハンドブックをダウンロードして、ご自分の765LTで有利なスタートを切りましょう。McLaren Appで、すべて無料でご提供しています。

app storeにアクセスして、今すぐダウンロードしてください。



765LT